



中之島だより

令和6年1月号

和歌山市立中之島小学校



2024年を迎えて

【校長 太田 謙二】

いよいよ新しい年、2024年（令和6年）を迎えました。そして、今日、1月9日（火）から、3学期がスタートしました。今回の冬休みは、例年より少し長く、ゆっくりと過ごすことができたのではないかと思います。大きな事故などなく、3学期の始業式では、みんなの元気な姿を見ることができて、ほっとしています。

知ってのとおり、今年の元日に、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が起こり、深刻な被害が出ています。突然起こった今回の地震ですが、いつどこで、このような災害が起きるか分かりません。自然災害の怖さを痛感するとともに、今後30年以内に、70%から80%の確率で発生が予想される「東南海・南海地震」に対して、できるだけの備えをしておく必要性を強く感じました。

さて、今年の干支は「辰（たつ）」です。十二支の中で唯一架空の生き物です。水や海の神として祀られてきた辰は、万物が成長して動きが盛んになる象徴とされています。つまり、2024年は、「物事のはじまり」「大きな成長の年」、世の中がガラッと変わることが多い年だと言われています。コロナ禍があけ、2024年は、新しいことが目に見える形で、次々と起きる素敵な年になることを願っています。



今日からの3学期は、授業日数が約50日と一番短い学期ですが、それぞれの学年のまとめをするとともに、次の学年への準備をする大切な学期でもあります。特に6年生にとっては、小学校生活最後の学期となります。卒業という大きな節目に向け、一日一日を大切にしながら、小学校生活のいい思い出をつくり、中学校へとつなげて欲しいと思います。



新しい年を迎え、子供たちが新たな気持ちで目標を持ち、この一年しっかりと成長できるよう、教職員一同、気持ち新たに協力して取り組んで参ります。保護者の皆様、地域の皆様、今年もどうぞ、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。